



この夏にあった 怖かったこと

もしも 高速道路で 逆走車と出会ったら

後からだんだん 怖くなりました

(その1) それは、お盆過ぎの家族旅行中のことです。



富山県の高速道路の追い越し車線を走行中の出来事です。

朝からゲリラ豪雨で、ワイパーも効かない視界不良のなか、

ヘッドライトが前方に光って見えました。

右側の反対車線にもヘッドライトが見え、やばい「逆走車だ。」

ここで左側の走行車線には、10トンくらいのトラックが走行中。どうする？

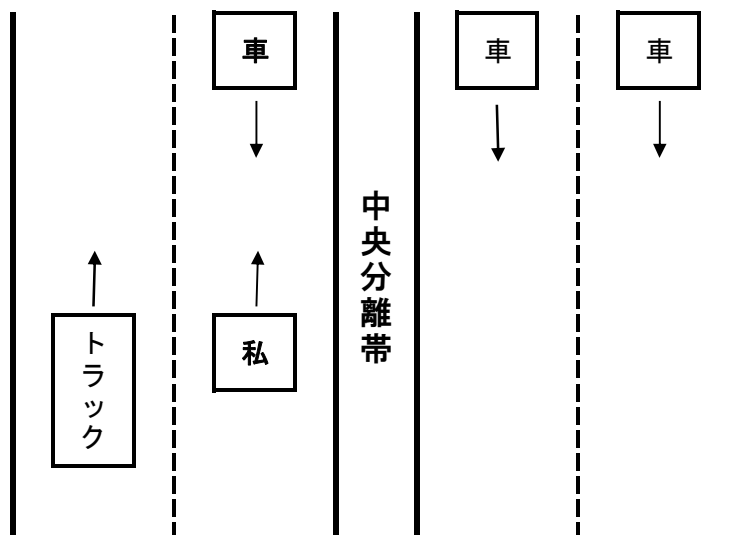
高速道路は、豪雨で路面は水浸し状態。(ブレーキすれば、スピンが怖い)

何か回避策を取ろうにも、目線は前のライトから離すことができません。

トラックの後方へ回避するための確認する時間はなく、逆走者は

減速(ブレーキを踏んでいる)してようには見えません。

この状況下、私が行なった逆走車への回避策行動をお考えください。



ヘッドライト3つ  
認識したときの心境  
、  
ジーパン刑事の一言  
「なんじゃこりや」

**（その２）目線の中で、唯一の回避策に 生死をかけた。**

一瞬の状況判断後に、私は**アクセル**を踏みました。

トラックの前方を、回避先にと判断したからです。

**左ウインカー**をつけて、**逆走車**と**トラック**に対して、私の行動を知らせる。

おそらく、逆走車はトラック側にハンドルをきらないはず。

一瞬のことでしたが、冷静な私がそこにいました。

ただ、トラックの前方に車線変更をしても問題は全て解決しません。

「逆走車は、そのまま真っ直ぐ走ってくれ」とただ願いました。

何を叫んだか、覚えていませんが、その声で同乗している家族が目覚め、

逆走車とすれ違いざま、家族は「何これ」と驚いていました。

無事に、すれ違ってから 怖さが 沸きあがってきました。

当日は、雨を回避し、岐阜ファミリーパークと彦根城見学、琵琶湖畔に宿泊。

翌日は、福井県立恐竜博物館の見学をして、家路となりました。

ゲリラ豪雨と逆走車を回避しながらの、怖くて、楽しい家族旅行でした。

万代つばさグループ代表  
発行者 八百板 誠

（ 税理士法人 万代つばさ 代表社員税理士 ）  
（ 八百板誠行政書士事務所 ）

事 務 所 ： 新潟市中央区下大川前通 7 ノ 町 2 2 3 0 番地 （ 8 階建の 1 階奥です ）  
0 2 5 （ 2 2 8 ） 4 6 9 7

編集者より 記事は独自の調査分析により書き上げております。

明示、黙示にかかわらず、発行者（当事務所）がこれを保証するものではありません。